

第71期 報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

Denyo

デンヨー株式会社

【証券コード：6517】



ショッピングセンターに設置されている非常用発電機

目次

ごあいさつ…………… ②

連結決算…………… ③～④

製品別の概況（連結）…………… ⑤～⑥

ニュース…………… ⑦～⑧

株式の概況…………… ⑨

会社の概況…………… ⑩

株主の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。
当社第71期の報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に、雇用や所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、米国の保護主義的な通商政策や中国経済の減速などにより先行き不透明感が高まりましたが、米国経済は緩やかな拡大基調が続き、アジア経済も全体としては底堅く推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、首都圏の再開発工事やオリンピック関連工事、災害復旧工事など建設需要が堅調に推移いたしました。海外においては、米国市場の需要が高水準で推移いたしました。アジア市場および中近東市場は、本格的な回復には至りませんでした。

このような状況の中、当社グループといたしましては、新製品の投入や販売キャンペーンの実施など拡販に努めるとともに、原価低減活動を進めてまいりました結果、売上高555億54百万円（前期比10.7%増）、営業利益42億1百万円（同7.7%増）、経常利益45億92百万円（同9.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益31億66百万円（同14.7%増）となりました。

期末配当金につきましては、1株当たり普通配当金22円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、インフラ再整備工事や首都圏の再開発事業、防災関連工事など国内の建設需要は引き続き堅調に推移し、米国市場も好調に推移するものと期待される一方、米中の貿易摩擦の動向や英国のEU離脱問題など予断を許さない状況は続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、中期経営計画「Denyo2020」における2年目の各種施策を着実に実行し、業績の拡大を目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも旧に倍するご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2019年6月



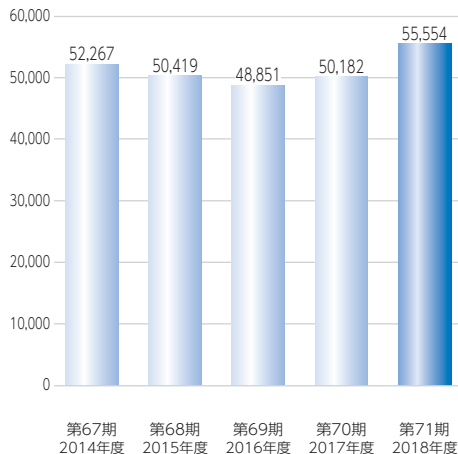
代表取締役社長

白鳥昌一

グラフで見る連結業績の推移

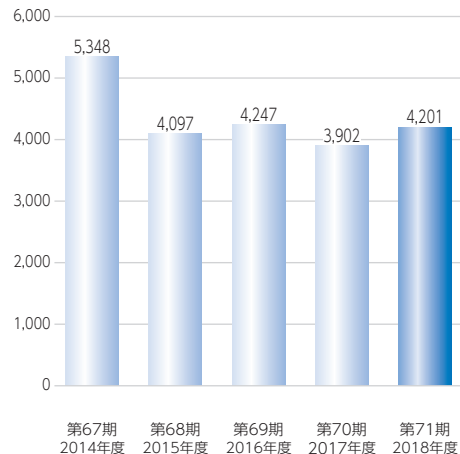
売上高

(百万円)



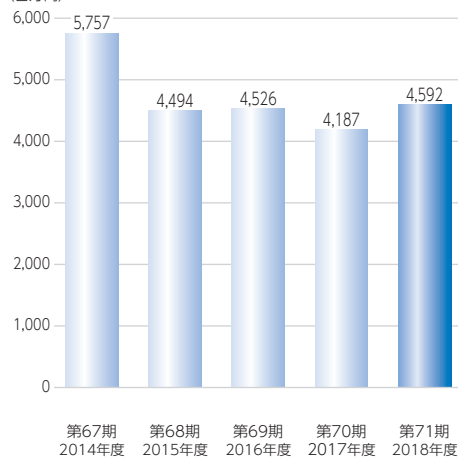
営業利益

(百万円)



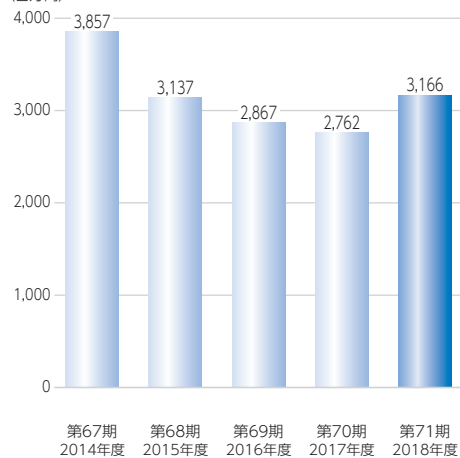
経常利益

(百万円)

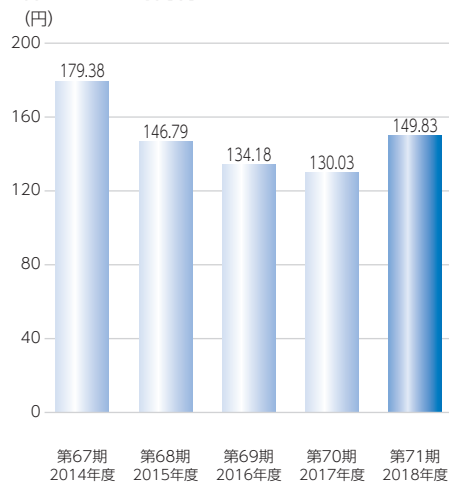


親会社株主に帰属する当期純利益

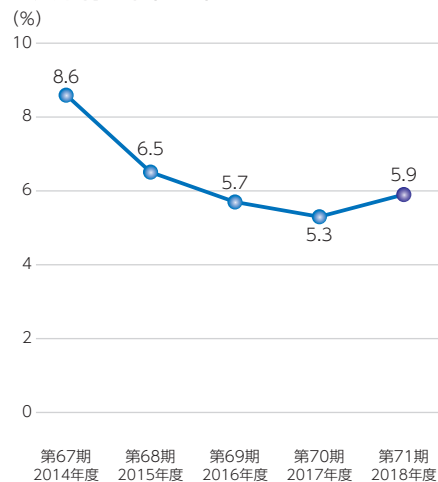
(百万円)



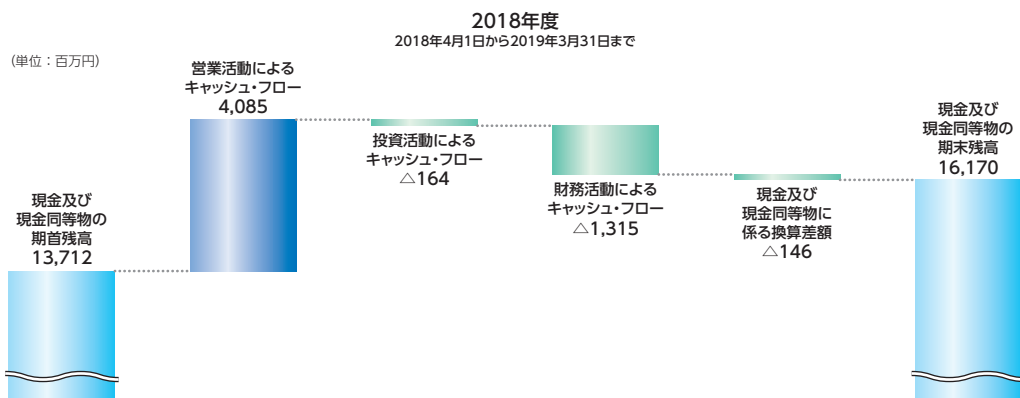
1 株当たり当期純利益



自己資本利益率(ROE)



連結キャッシュ・フロー計算書



●発電機関連



（ディーゼルエンジン発電機 DCA-25LSKE）

発電機関連では、国内向けは、主に工事現場などで使用される可搬形発電機の出荷が全般的に増加し、更に、防災対策用の発電機も堅調に推移いたしました。海外向けは、アジアおよび中近東向けが低調に推移いたしました。米国向けが大幅に増加しましたことから、売上高436億60百万円（前期比13.0%増）となりました。

●溶接機関連



（ディーゼルエンジン溶接機 DLW-400LSWE）

溶接機関連では、国内向けが、堅調な建築需要を背景に、小型溶接機やTIG溶接機の出荷が堅調に推移し、米国向けも増加しましたことから、売上高51億15百万円（同4.0%増）となりました。

●コンプレッサ関連



（エンジンコンプレッサ DIS-200VPBE）

コンプレッサ関連では、米国向け出荷が増加しましたが、国内向けモータコンプレッサが低調に推移いたしましたことから、売上高10億59百万円（同2.2%減）となりました。

●その他



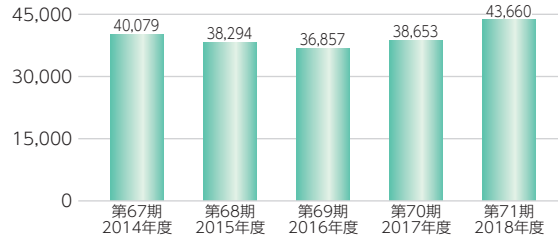
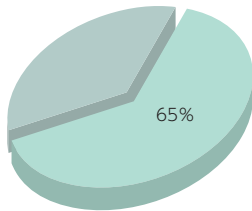
（自走式高所作業車 HW-580X）

その他では、高所作業車や部品売上等の増加により、売上高57億19百万円（同3.5%増）となりました。

■製品別売上高の推移 (単位：百万円)

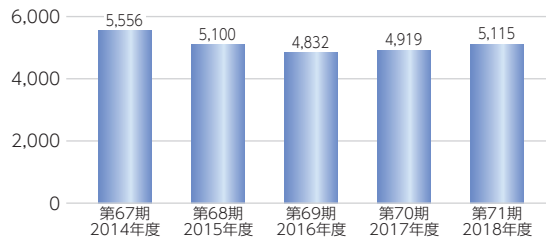
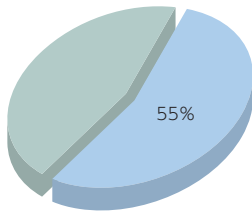
●発電機関連

国内市場占有率



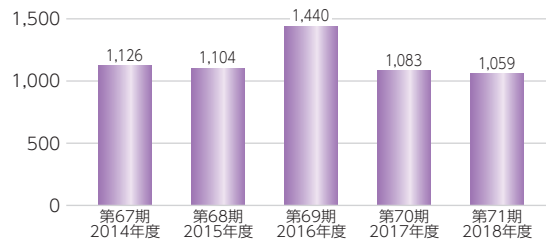
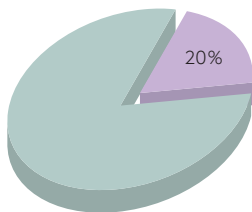
●溶接機関連

国内市場占有率

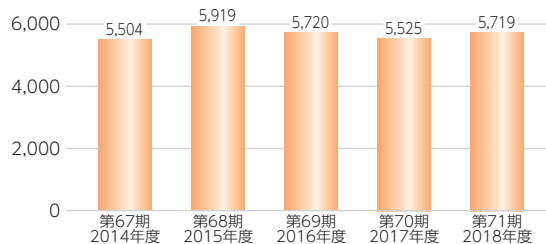


●コンプレッサ関連

国内市場占有率



●その他



(注) 国内市場占有率は当社調べによる。

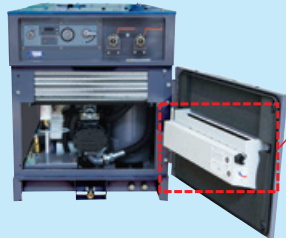
■ エコベースエンジンコンプレッサDIS-80LBE-Cのご紹介

デンヨーは、エンジンコンプレッサにおいても環境に優しいエコベース機の拡充に努めており、エコベースコンプレッサの第3弾として、2018年10月よりアフタクーラタイプの「DIS-80LBE-C」の販売を開始いたしました。

エコベースとコンプレッサ本体を一体化し、不測の事態により、燃料やエンジンオイルなどが漏れた場合でも本体下部のエコベース部に溜めることにより外部への流出を極力抑えますので、河川工事や港湾工事といった設置基準の厳しい場所でも安心してご使用いただけます。

また、高性能アフタクーラにより圧縮空気を冷却することで、四季を通じて外気温+15℃以内の安定した空気を供給することができ、さらに、冬季や寒冷地においては吸気切換ダクトを切り換えることで吸気の温度を調整して寒冷時に配管内の水分が凍結することを防ぎます。

高効率ドレンセパレータによりアフタクーラで発生した水分を70%以上除去することが可能となり、エアツールからの水の飛散による汚れを低減することができ、室内等のハツリ作業やプラスト、塗装作業などにお勧めです。



吸気切換ダクト



DIS-80LBE-C

■ 三相・単相3線同時出力機NEWサイマルジェネレータDCA-45LSKE-D2のご紹介

デンヨーは、三相・単相3線同時出力発電機NEWサイマルジェネレータ「DCA-45LSKE-D2」を開発し、2018年9月より販売を開始いたしました。

NEWサイマルジェネレータは、独自の巻線方式によりさらなる出力アップと軽量化を実現しました。これにより、単相3線式の出力が従来機よりも約10%増え、さらに余裕のある三相・単相3線同時出力が可能となります。また、従来機ではオプションであった複電圧仕様(200/400V級)を標準装備とし、幅広い用途にご使用いただけます。

デンヨーは、さらなる発電性能アップと軽量化を両立したNEWサイマルジェネレータの販売に注力してまいります。



DCA-45LSKE-D2

■ Denyo Manufacturing Corporation 板金工場開所式

米国ケンタッキー州の生産拠点である当社グループ会社Denyo Manufacturing Corporation（デンヨー マニュファクチュアリング コーポレーション：DMC）において、板金工場が2019年3月に完成し、開所式を開催いたしました。

米国では、好景気を背景に発電機の需要が好調に推移していることに加え、旧板金工場はDMCから遠方に位置し、老朽化も進んでいたことから、生産能力の強化と生産体制の効率化を図るため、DMCの敷地内に板金工場を新設しました。新板金工場は旧工場面積の約1.8倍である5,574㎡を有し、最新設備の導入により年間加工能力は従来の約3倍を見込んでおります。

デンヨーグループは今後も更なる飛躍を目指し、生産性向上に向けた取り組みを進めてまいります。



新板金工場内での開所式の様子



開所式でのテープカットの様子

■ 自己株式の取得

当社は、経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式の取得を行いました。

取得日	2018年11月9日
取得株式総数	300,000株
取得総額	500,400,000円
買付方法	東京証券取引所における自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）を利用した取得

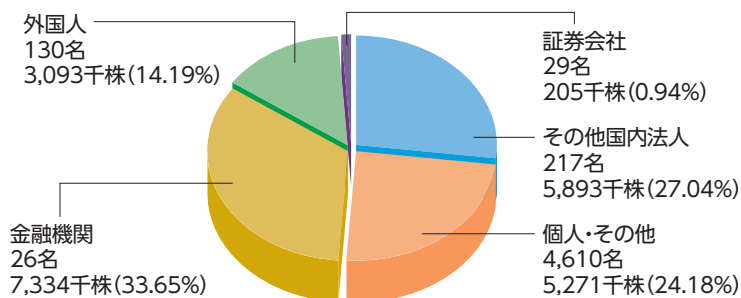
株式の概況 (2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 97,811,000株
- 発行済株式の総数 22,859,660株 (自己株式1,061,181株を含む)
- 株主数 5,013名
- 大株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,459千株	6.69%
株 式 会 社 久 栄	1,417	6.50
み ず ほ 信 託 銀 行 株 式 会 社	1,088	4.99
第 一 生 命 保 険 株 式 会 社	872	4.00
資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)	791	3.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	676	3.10
デ ン ヨ ー 親 栄 会	607	2.78
株 式 会 社 鶴 見 製 作 所	543	2.49
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	540	2.47
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリフィデリティファンズ	522	2.39

- (注) 1. みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数1,088千株は、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の財産として拠出しており、その議決権行使の指図権は同行が留保しております。
2. 当社は従業員の福利厚生サービスとして自社の株式を給付する、「株式給付信託 (J-ESOP)」および当社取締役に対する株式報酬制度「取締役株式給付制度」として「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、これらの信託の受託者であるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口) が当社株式791千株を保有しております。
3. 当社は自己株式を1,061千株 (所有比率4.64%) 保有しておりますが、議決権がないため上記の大株主より除外しております。

○所有者別株式分布状況



会社の概況 (2019年3月31日現在)

商号	デンヨー株式会社
創立	1948年7月2日
本社	東京都中央区日本橋堀留町2丁目8番5号
事業所	全国21ヵ所
資本金	1,954百万円
従業員	576名(連結子会社を含めた従業員1,350名)
営業種目	下記製品の製造ならびに販売 発電機：エンジン発電機、定置形発電機、交流発電機本体 溶接機：エンジン溶接機、溶接用発電機本体、特殊溶接装置、溶接用治具装置 コンプレッサ：エンジンコンプレッサ、モータコンプレッサ その他：水関連機器、高所作業車、建設機械、部品および修理、その他

主要な連結子会社および持分法適用関連会社の名称

○主要な連結子会社

デンヨー興産株式会社
ニシハツ株式会社※
デンヨー アメリカ コーポレーション
デンヨー マニュファクチュアリング コーポレーション
デンヨー ユナイテッド マシナリー PTE.LTD.
デンヨー ヨーロッパ B.V.
デンヨー ベトナム CO.,LTD.
P.T.デイン プリマ ジェネレーター

○持分法適用関連会社

新日本建販株式会社

※ニシハツ株式会社は2018年10月1日付で商号を西日本発電機株式会社より変更しております。

取締役および監査役 (2019年6月27日現在)

代表取締役社長	白鳥 昌一	取締役執行役員	吉永 隆法	常勤監査役	廣井 亨
代表取締役副社長執行役員	江藤 陽二	取締役執行役員	山田 正雄	社外監査役	山田 昭子
取締役相談役	久保山 英明	社外取締役	高田 晴仁	社外監査役	山上 圭子
取締役専務執行役員	水野 恭男	社外取締役	武山 芳夫		
取締役常務執行役員	兎澤 俊哉	常勤監査役	杉山 勝		

執行役員

上席執行役員	山田 康弘	執行役員	木村 千代樹	執行役員	石倉 克巳
上席執行役員	田辺 誠	執行役員	島津 利明	執行役員	蝶勢 昇
上席執行役員	森山 兼作	執行役員	布上 幸夫		
上席執行役員	野中 美智夫	執行役員	港 正一		



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告方法	日本経済新聞に掲載する
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
郵便物送付先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎ 0120-49-7009 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

当社ホームページ：<http://www.denyo.co.jp>

・住所変更・単元未満株の買取等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

・未支払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

・「配当金計算書」について

配当金を銀行等口座振込（株式数比例配分方式を除きます。）または配当金領収証にてお受取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引の証券会社等にご確認ください。